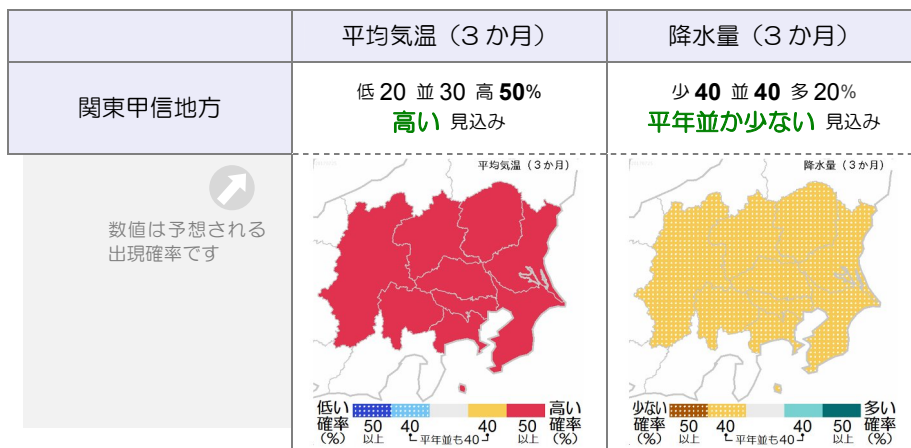


向こう3か月の天候の見通し 関東甲信地方 8月～10月

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう3か月の気温は高い見込みです。
- 期間の後半を中心に低気圧や前線の影響を受けにくく、移動性高気圧に覆われやすい見込みです。このため、向こう3か月の降水量は平年並か少ない見込みです。

3か月の平均気温・降水量

















月別の天候

8月	9月	10月
平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	天気は数日の周期で変わりますが、移動性高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

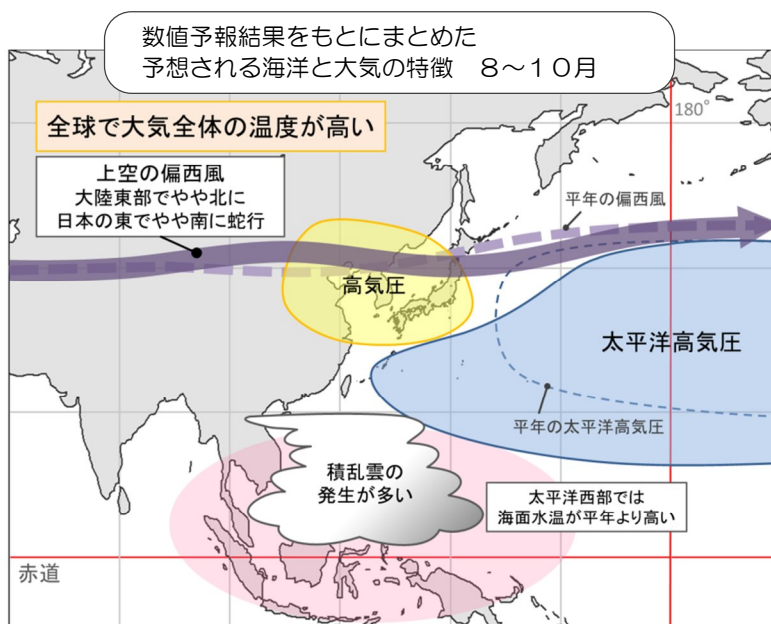
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 8月	平均気温 9月	平均気温 10月
関東甲信地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です			
			
	低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)	低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)	低い確率 (%) 以上 50 40 40 50 高い確率 (%)
	降水量 8月	降水量 9月	降水量 10月
関東甲信地方	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない 見込み
 数値は予想される 出現確率です			
			
	少ない確率 (%) 以上 50 40 40 50 多い確率 (%)	少ない確率 (%) 以上 50 40 40 50 多い確率 (%)	少ない確率 (%) 以上 50 40 40 50 多い確率 (%)

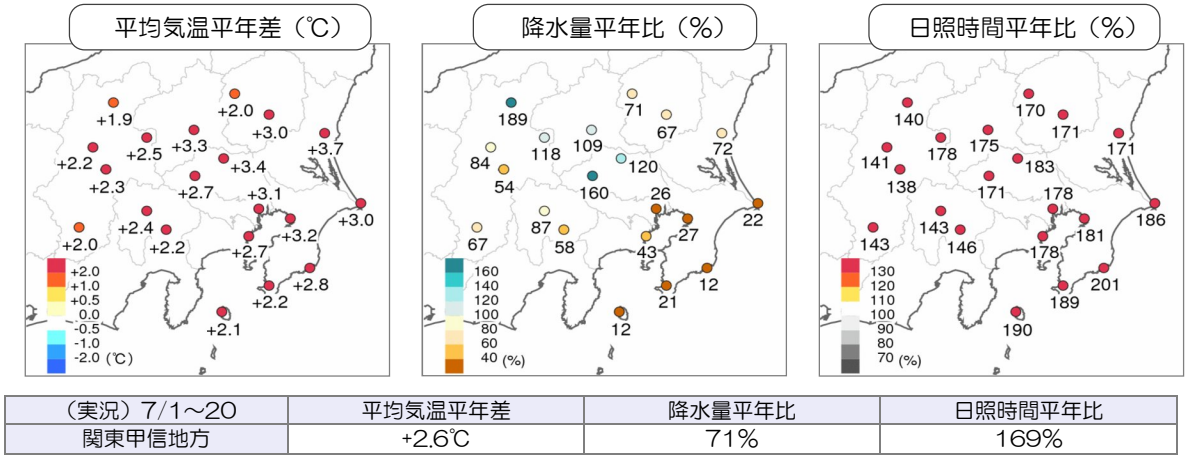
予想される海洋と大気の特徴

- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯の海面水温は、太平洋西部で高い見込みです。このため、インドネシアからフィリピン付近にかけて積乱雲の発生が多いでしょう。
- この影響で、上空の偏西風は大陸東部でやや北に、日本の東でやや南に蛇行する見込みです。このため、本州付近は期間の後半を中心に低気圧や前線の影響を受けにくく、移動性高気圧に覆われやすいでしょう。
- また、太平洋高気圧は、日本の南で西への張り出しが強く、北への張り出しは弱い見込みです。



今月の天候経過（実況） 7/1～20

期間のはじめは、梅雨前線の活動が活発になったことや台風第3号が関東地方の南岸を通過したため広い範囲で雨となりましたが、その後は梅雨前線の影響が小さかったため、日照時間は平年を上回りました。降水量は、平年を下回ったところが多くなりましたが、梅雨前線や大気の状態が不安定となった影響で局地的に大雨となり、内陸部では平年を上回った所がありました。気温は、暖かい空気に覆われ晴れた日が多かったため平年を大幅に上回り、期間の後半を中心に猛暑日となる所が多くなりました。



参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 8月	平均気温 9月	平均気温 10月
関東甲信地方	平年差：-0.4～+0.4℃	平年差：-0.4～+0.4℃	平年差：-0.6～+0.6℃	平年差：-0.6～+0.6℃
東京	21.9～22.5℃	26.1～26.9℃	22.2～23.4℃	16.9～18.0℃

	降水量 3か月	降水量 8月	降水量 9月	降水量 10月
関東甲信地方	平年比：88～105%	平年比：69～124%	平年比：84～123%	平年比：69～111%
東京	488.3～635.5mm	123.1～185.5mm	164.3～221.7mm	132.8～199.2mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11～20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	8月		9月		10月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
東京	16.2日	7.7日	11.9日	11.0日	14.8日	9.8日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み